

多久北部工業団地などに

新たに3社が進出協定を締結

株式会社
ヒガシトウエンティワン



力強く握手をかわす(株)ヒガシトウエンティワンの
阿知羅社長(右)と横尾市長(左)

倉庫物流業の株式会社ヒガシトウエンティワン(本社 大阪市)の、多久北部工業団地別府西工区への進出が2月28日決まり、進出協定を締結しました。

株式会社ヒガシトウエンティワンは、関西、中部、関東地区を中心に事業を展開しており、取引企業の要望を受け、進出コストや高速交通体系などの物流の利便性を考え、九州進出の拠点として、多久市への進出を決定しました。

用地については、1坪100円でリースする制度を利用し、敷地面積

15、900㎡に建物面積7、200㎡の倉庫を建設し、従業員は、来年7月までに地元から31名の雇用を予定しています。4月に工事着工し10月の操業開始を予定しています。

株式会社
オニザキコーポレーション

食料品(ごま製品)製造・販売業の株式会社オニザキコーポレーション(本社 熊本市)の、多久北部工業団地相の浦工区への進出が3月15日決まり、進出協定を締結しました。



協定書にサインをする
(株)オニザキコーポレーションの
金丸社長(右)と藤田助役(左)

オニザキコーポレーション株式会社は、ごま製品を各種製造する食料品工場として、十分に衛生上配慮された工場を建設するための地形、周辺環境、また交通の至便性などの要件を充たしており、会社発祥の地である佐賀にこだわり、本市への立地に至りました。

用地については、土地購入を前提とする企業に対し用地の賃貸料を10年間無償とする貸付特約付分譲制度を利用しており、敷地面積16、300㎡に約4、500㎡の工場を来年2月に工事着工し、平成21年6月操業開始を目指します。

従業員については操業開始までに市内から27名の雇用を計画しています。

株式会社 友成機工

プラスチック金型製造・販売業の株式会社友成機工(本社 静岡市)の、北多久町大字小侍(タニグチ繊維事業所跡)への進出が3月22日決まり、進出協定を締結しました。株式会社友成機工は、静岡市と中国浙江省に製造拠点があり、主に自動車関係部品の製造を行っており、九州の自動車産業の成長が期待されることから、多久市を九州の製造の拠点として進出を決定しました。敷地面積約37、800㎡に約6、

400㎡の工場を4月に工事着工し、9月操業開始を目指します。雇用については、今回の計画では31名の雇用を予定しており、市内からは27名を予定しています。



笑顔で協定書に捺印する(株)友成機工の増田社長

平成18年から今日までの企業誘致によって、従業員326名(男219名、女107名)の雇用が見込め、市内からも136名(男70名、女66名)の新規雇用が予定されています。雇用機会の創出と定住基盤の整備は、市勢発展の両輪であり、地域経済の活況を促す事になり大変有意義な事です。また、それぞれの企業が発展していくよう市としても協力していきたいと考えています。

■問い合わせ

産業振興課 企業誘致推進係

☎ 75-2117